

新成人代表2人の「誓いの言葉」



かわぐち ひなた
川口 日南太さん
(南部地区)

高校卒業後、仕事が上手くいかず、鬱と過食になりました。立ち直ったのは現在の職場(居酒屋)に入ってからです。お客さんや、今、目の前にいる人を笑顔にさせるにはどうしたらいいんだろうと考えるようになりました。そう考えることができたようになってから、僕は立ち直ることができました。

仕事が入りやすいか？ 実家に帰ったとき「じい」とばあは何より日南太のことを一番に思っているんじゃないかと。そんなおじいちゃん、おばあちゃんに「店長として立派に働いている姿を見せて安心させてあげたい、喜ばせてあげたい」それが一番の頑張る目的です。

今まで周りで支えてくれた全ての皆さん、本当にありがとうございました。ありがとうございます。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、僕を育ててくれて本当にありがとうございます。



だいふく まや
大福 紗矢さん
(生月地区)

私たち新成人は冬季長野オリンピックが開催された20年前のこの世に生を受けました。

新成人として誇りをもち地域社会、さらには国際社会の未来を担っていく大人の一人として一日でも早く貢献できるよう努めていきたいと考えています。

現在、保育士を目指して学んでいます。子どもたちがこれから歩んでいく道の基盤を創っていくことの責任の重さを強く感じ、個性をつぶさずに伸ばしていけるよう力を注いでいきます。

今日、笑顔で成人式を迎える事ができたのは、支えてくれた家族や親族、教え導いてくれた先生方、私たちの成長を温かく見守ってくれた地域の皆さんそして、共に歩んだ友人、仲間たちのおかげです。

この感謝の気持ちと、平戸で生まれ育った誇り、そして成人としての決意を心に刻み、これからの人生を歩んでいきます。

— 誓いを胸に、それぞれの夢に向かい羽ばたけ若人たち —



感謝と希望

二十歳の門出に大人への誓い

平成31年平戸市成人式

新春恒例の成人式。平戸市では378人が成人を迎えました。笑顔と感謝の輪が広がり、希望に満ちた成人式をお伝えします。

新

春の平戸の空に、二十歳の門出を祝うかのような青空が広がり、集まった新成人の表情には自然と笑顔があふれました。

平成31年の「成人の日」の前に、1月3日、平戸市成人式が平戸文化センターで開催されました。

会場には、艶やかな振袖やスーツ、羽織袴などに身を包んだ新成人が集まり、旧友との再会を喜び合い記念撮影をしたり、近況や思い出を語り合っていました。

式では、新成人の代表者2人が、これまでの感謝の気持ちと、二十歳になった誓いの言葉を述べました。あいさつを聞いていた新成人の表情には、これから大人になるという決意と自覚が表れたような、そんなさりしさがうかがえました。

今年、平戸市では378人(平戸地区219人・生月地区61人・田平地区85人・大島地区13人)が成人を迎えました。

